

第 174 回塑性加工学講座<Web 開催>案 「鍛造加工の基礎と応用」

日 時：2021 年 12 月 2 日（木）～3 日（金）

会 場：Web 開催とします。最新の情報は学会ホームページでお知らせします

主 催：日本塑性加工学会（実行：鍛造分科会）

協 賛：軽金属学会、精密工学会、日本機械学会、型技術協会、日本アルミニウム協会、日本鉄鋼協会、自動車技術会、日本鍛造協会、日本ねじ工業協会、アルミニウム鍛造技術会

趣 旨：競争力のある鍛造品を開発し生産をするためには、最適な鍛造工程設計と高能率で安定した生産の実現が重要です。そのためには金型材、被加工材、潤滑、鍛造設備そして鍛造シミュレーション技術に至るまで幅広い知識が必要となります。本講座では「塑性加工技術セミナー：鍛造入門セミナー（演習付き）」を受講された方や鍛造の実業務に必要な知識を習得したい方を対象に、鍛造加工に関する講義を実施します。

プログラム：開会の辞（第 1 日 10:30～10:40）
司会（2 日間）

日本塑性加工学会 鍛造分科会主査
(株)ニチダイ

大津 雅亮君
近藤 靖之君

	時 間	内 容	講 師
12 月 2 日 (木)	10:40～12:00	鍛圧技術における最近の進化と可能性 : 歯車鍛造などの精密鍛造, 板鍛造や中空鍛造など軽量化鍛造, サーボプレス応用, 新潤滑法, 金型寿命予測, 超硬合金金型の直彫り, 金型コーティングなど最近の話題を説明する。	大阪大学名誉教授 小坂田 宏造君
	12:00～13:00	昼 食 ・ 休 憩	
	13:00～14:20	金型材料の特徴と表面処理技術 : 塑性加工用金型に適用可能な各種表面処理の特徴とそのトライボ特性について基礎実験から実例まで紹介するとともに, その特性を発揮させるための実用上の留意点について説明する。	岐阜大学 土屋 能成君
	14:30～15:50	鍛造用潤滑剤 : 冷間鍛造において, りん酸塩・石鹸処理は熟成した技術として確立している。本講座では, この技術の基礎と問題点を解説し, さらに代替となる環境対応型の一工程潤滑システムについて説明する。	日本パーカライジング(株) 小見山 忍君
	16:00～17:20	鍛造用材料 : 自動車部品のコスト低減要望に対応して開発した熱処理が省略可能な非調質鋼や, 工具寿命が良好な冷間鍛造性改善鋼を紹介する。さらに, 遅れ破壊特性や磁気特性の良好な高機能冷間鍛造用鋼について事例を説明する。	(株)神戸製鋼所 永濱 睦久君
12 月 3 日 (金)	10:40～12:00	鍛圧機械 : 鍛圧機械の基本的な機構について説明し, 利用される基本的な加工方法や鍛造される製品形状や生産性, その機械の特徴を説明する。	旭サナック(株) 棚瀬 幸彦君
	12:00～13:00	昼 食 ・ 休 憩	
	13:00～14:20	鍛造 CAE の基礎と実例 : 有限要素法による鍛造解析について数値解析の基礎的な考え方と実際に解析と付き合っていく上での注意事項などを, 実例を中心に説明する。	(株)ヤマナカコーキン 金 秀英君
	14:30～15:50	冷間鍛造の進歩事例 : 精密鍛造と高付加価値を生むネットシェイプ成形を成功させるには, 基礎になる技術知識や鍛造工法の考え方が重要である。それらを最近の事例に合わせ説明する。	(株)ケイ&ケイ 安藤 弘行君
	16:00～17:20	熱間鍛造の進歩事例 : 自動車部品における, 熱間鍛造技術の応用例や複合鍛造（熱間鍛造, 機械加工, 冷間鍛造）についても紹介し, その実例をもとにした製品設計, 工程設計, 金型設計の留意点について説明する。	(株)メタルアート 菰田 保司君

定 員：80 名（定員になり次第締切ります。）

参 加 費:	参加日数	正会員・賛助会員・協賛学会個人会員	学生会員	一般	・1 日だけの聴講も受付けます。但し、テキストは 2 日間通しのものを使用いたします。必ず受講希望日を記入してお申し込みください。 ・テキストのみの配布はいたしません。
	2 日間	25,000 円	12,500 円	40,000 円	
	1 日間	20,000 円	10,000 円	30,000 円	

申込方法：学会ホームページ(<http://www.jstp.or.jp>)【行事案内】のページよりお申し込みください。参加券、請求書等をお送りします。

注 意：Web 開催とします。事前に接続確認を実施させて頂く予定ですが、当日の接続に関するトラブルは、十分にサポートできない場合がありますので、予めご了承をお願いします。最新の情報は学会ホームページでお知らせします。